

ごあいさつ



美原町長 高岡 寛

美原町は、旧黒山村・平尾村・丹南村の三ヶ村が合併し、昭和三十一年（一九五六）年九月に町制を施行して、人口九、七六二人の町が誕生いたしました。

爾来、約半世紀にわたり、住民の皆様と共に町勢振興、福祉の向上を常に願って町政を進めてまいりましたが、今、その歴史に幕を下ろそうとしております。思い起こせば、社会情勢が大きく変動するなか、歴代町長をはじめ行政に携わってこられた方々のご尽力により、国道三〇九号、阪和自動車道、南阪奈道路の開通とそれらに伴う周辺道路の整備をはじめ、大阪木材工場団地やさつき野住宅団地の開発などに取り組み、町制施行時は二万人に満たなかった人口も現在は約四万人となる町へと発展を遂げ、私たちの暮らしも大きく様変わりをしてまいりました。またこの間には、災害や経済不況などの困難な時期もありましたが、これらを懸命に乗り越え、美原町の発展に尽くしてこられた多くの先人たちのご努力と住民の皆様のためまぬご協力に、あらためて敬意と感謝の意を表し、後世に語り継ぐ

ことを目的に、この記念誌『美原 わが心のふるさと』を制作いたしました。

美原町の歴史や文化を知り、ありし日の記憶を大切な人に伝え、誇れるふるさと「美原」を、いつまでも心に残していただければ幸いと存じます。

美原の歴史・文化に触れ、誇れる美原の心を来るべき新しい時代にも、政令指定都市への移行をめざす堺市民の心として、活かされるものと硬く信じ、今後は、新たなステップとしてスタートする堺市の未来に対する更なる大きな期待と住民の皆様方のご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



ごあいさつ



美原町議会 議長 肥田 勝秀

時の流れは早いもので、美原町が誕生して、四十八年の歳月が流れました。十年一昔と申しますが四十八年という年月の重みは、そのことのみでも、いかに議会と町が車の両輪の如く、今日まで、力強く歩んできたかを物語るものでありまして、歴代町長並びに諸先輩議員をはじめ、住民の皆様方のご尽力に対しまして深く敬意を表するところでございます。

美原町発足当時の昭和三十一年頃は、社会の変動が最も激しい時期であり、困難な財政事情のもとで、新しい町としての基礎固めに専念されてきた時期であり、充実した住民生活、ゆとりと潤いのある地域社会の中での、幸せな暮らしの営みといった、理想郷の実現には、前途なお遠く、かつ険しいことを、心に深く刻みつけ、忘れてはならないと思っています。

即ち、現実の社会情勢は、戦後の急速な経済成長の成果として、物質的な面において非常なレベルアップが図られましたが、交通や公害の面で、生活環境が阻害され、また通信・交通手段の著しい発達による便利さの反面、気ぜわしさや騒々しさが、その度を増し、異常なまでの競争心理が人々を駆り立て、ものの考え方や価値観に大きな変化が現れております。

しかし、この四十八年間、陰に陽に、町勢進展のためにご尽力をいただき

ました皆様のご芳情を偲びますとき、その熱意とご苦勞は、筆舌に尽くし難いものがあります。

特に、町行政を担当されて来られた町幹部職員等、大阪府より出向いただいた歴代助役、そして、国・府当局のご援助・ご教示をいただき、更には住民各位の温かいご厚情には、身に余るものがあります。

美原町は、二月一日には、新堺市としてスタートすることとなりますが、私は、この合併の意義は、過去の歩みを顧みるのではなく、来るべき次の時代に、今までの歩みをどう生かしていくかにあると思っています。

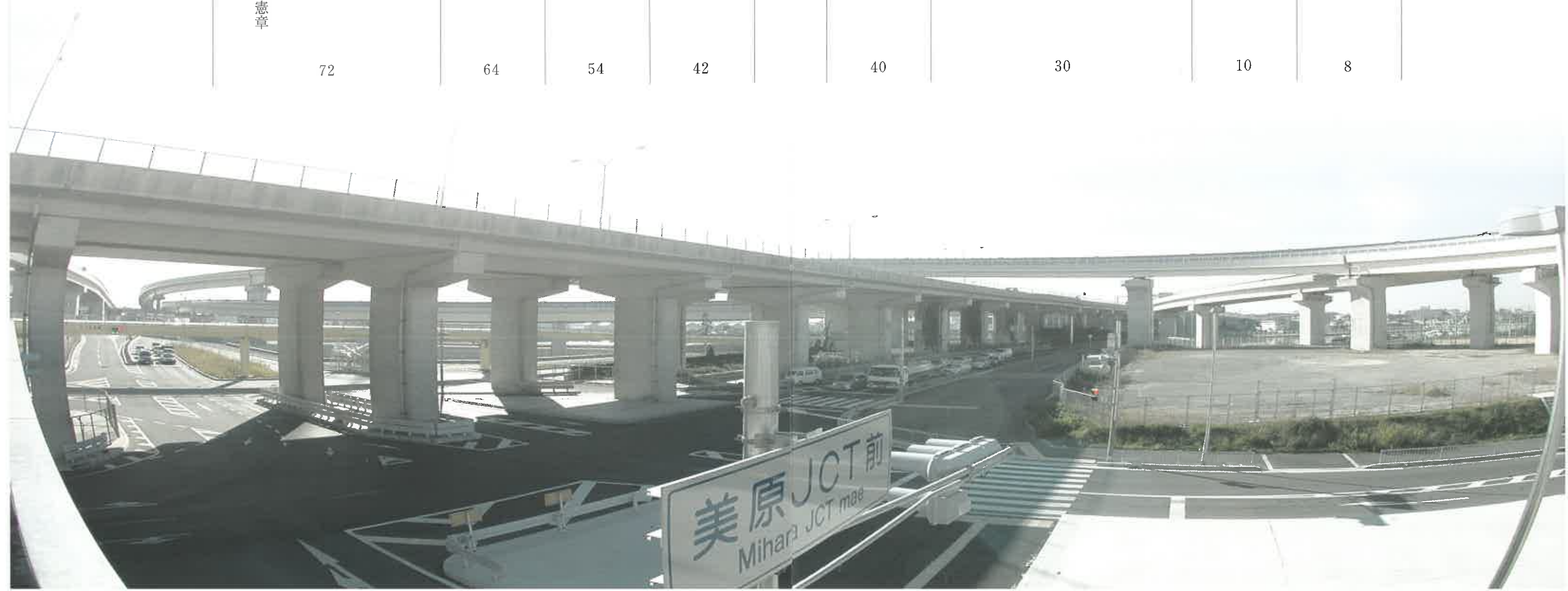
議会といたしましても、この美原町の更なる発展を願いまして、堺市・美原町合併新市建設計画、即ち、美原町地域事業に関する実施方針案の実現に向けて、努力していくことが、私達、議会議員に課せられた使命であると考えています。

「より豊かな住みよいまちづくり」と「住民生活の向上」を目指して、積極的に対処して参るべく、決意を新たにしておりますので、今後とも、なお層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げ、挨拶いたします。



目次

美原町の位置と自然	8
みはら歴史紀行	10
美原町のうつりかわり	
昭和31年～40年	
昭和41年～50年	
昭和51年～60年	30
昭和61年～平成7年	
平成8年～平成17年	
美原町イラストマップ	40
美原町のいま	42
美原町の施設紹介	54
合併までのあゆみと今後の展望	64
資料	
歴代町長・助役・収入役	72
歴代議長・副議長／行政／議会	
美原町役場機構図・役場見取り図	
統計／美原町歌・美原音頭／美原町民憲章	



美原町の位置と自然

美原町は、北緯34度32分、東経135度33分に位置し、ほぼ同緯度の世界を見渡すと、ロサンゼルス、テキサス、西安などの都市がある。大阪府域では、ほぼ中心部、大阪都心部から15km圏内に位置し、東西4.5km、南北5.5km、総面積は13.20km²、東は羽曳野丘陵の分水嶺^{ぶんすい れい}によって羽曳野市と富田林市に、西は堺市、南は堺市および大阪狭山市、北は松原市とそれぞれ境界を接している。

また、総面積の約50%が標高50m以上となっており、町全体を見ると、東南部から北西部にかけてゆるやかに低く傾斜し、大和川左岸の豊かな河内平野を形成している。

狭山池を源とする東除川は、町東部を南から北に羽曳野市へと流下し、同じく狭山池を源とする西除川は、町西部を南から北に松原市へと流下し、両河川ともに大和川へと注いでいる。

道路網は、国道309号を中心に、府道と町道によって構成され、近畿自動車道、阪和自動車道につづき、平成16年、大阪南東部と奈良をつなぐ「平成の竹内街道」



南阪奈道路の開通で、近畿圏道路ネットワークの中の名実ともに要の役割を担うようになった。

